

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和 3 年度

市町村名	久喜市		
提案事業名	地域の魅力再発見・未来共創事業		
事業期間	令和3 年度	～	令和3 年度
事業の必要性、目的	<p>2030年までに、国や地方自治体、企業や市民一人ひとりに至るまで、全てのひとが、持続可能でより良い社会の実現を目指す国際目標である「SDGs」を達成することを求められていることから、本市としても、SDGsの概念・理念を今後のあらゆる施策や取組みに反映していくことが必要である。</p> <p>SDGsを達成するためには、市民にも広くSDGsを知ってもらい、行政と市民が協働で持続可能なまちづくりを進めていく必要があることから、その機会の一つとして久喜市の未来を市民と共創することを目的とするイベントを開催する。</p>		
成 果 指 標	(成果を検証する指標) イベント参加者向けに実施するアンケート結果		
	(成果検証の具体的な方法) イベント参加者向けにアンケートを実施し、本イベントを通してSDGsに対する理解が深まったと回答した参加者の割合を分析する。		
	(上記の指標を設定した理由) 本イベントの目的が、市民に広くSDGsを知ってもらうことで、行政と市民が協働で持続可能なまちづくりを進めていくことにつなげることであるため。		
	(成果の目標値)		
	現状値 (年 月現在)	目標値 (R3年11月時 点)	50%
	(施設建設等の場合)		
年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和3年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 久喜市SDGs普及啓発事業	ソフト 学識経験者(SDGsファシリテーター等)を招聘し、SDGsに触れたことがない市民にも分かりやすく、SDGsに親近感を得られるような講話を実施することにより、SDGsに対する市民の理解を深める。	2,614
② 久喜市SDGs未来共創事業	ソフト 市内小・中学生によるSDGsを踏まえた久喜市の未来についての発表会を実施するとともに、市民との協働・共創により作成したSDGsマップや久喜市SDGs取組方針を発表することにより、市民と行政の間でSDGs及び久喜市の未来についての認識を共有することができる。	28
③ 久喜市SDGsシンポジウム事業	ソフト 事業①及び②の内容を踏まえ、SDGsの考え方のもと、久喜市の未来をテーマとしたシンポジウムを開催することにより、子どもたちが望む久喜市の未来の姿を共有することができるため、より良い未来を共創することに繋がる。	1,880
④		
⑤		
合計		4,522

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	本イベントを開催するほか、SDGsワークショップを開催することにより、さまざまなソースを活用し、SDGsに対する市民の意識を高める。
成果指標の達成見込み	SDGsに触れたことがない市民でも分かりやすいような講話、市内小・中学生による発表会、SDGsワークショップの開催や、それを総括するシンポジウムの開催により、幅広い層の市民を対象にSDGsの理解を深めることができると判断した。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業(ハード事業)。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業(ソフト事業)。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの(間接補助事業)。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。